公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	グローバルプラス		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 1日		～ 令和7年 9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 1日		～ 令和7年 9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 9月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人ひとりに応じた個別支援計画を柔軟に立て、学習や生活面の力を伸ばす支援ができていた点が強みである。	計画の実効性を高めるため、定期的にモニタリングやケース会議を行い、最適な支援へと改善を図っている。	さらにICTを用いて支援記録を効率化し、データ分析に基づいた客観的で根拠ある支援体制を一層充実させていく。
2	家庭と事業所が課題を共有し、一貫した対応を行う協働体制があり、安心感を持てる関係づくりが強みである。	日々の連絡帳や定期面談を通じて相談機会を設け、保護者が気軽に話せる環境づくりを意識的に行っている。	今後は情報提供会や勉強会を開催し、保護者の理解促進を図り、家庭との協働をさらに深める取り組みを進める。
3	感覚過敏や情緒不安定な児童にも配慮した環境づくりを行い、安心して活動できる場を提供している点が強み。	クールダウンスペース、視覚支援ツールを取り入れ、児童が落ち着いて過ごせる工夫を日常的に実施している。	さらに地域資源や専門機関と連携し、環境面に加え心理的支援や多角的サポートを充実させる体制を整える。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内の活動に比重が置かれ、学校や地域資源との結びつきが十分でなく社会参加の機会が限られている。	業務の忙しさから外部との関係構築の時間が不足し、地域連携を深める取り組みが後回しになっていることが要因。	学校や地域団体との合同活動を意識的に増やし、児童が地域社会に触れ参加できる機会を拡大していく必要がある。
2	職員の支援に差が生じることがあり、専門性やスキル向上の機会が十分に確保できていない点が弱みである。	日常業務が多忙で、外部研修や勉強会への参加時間が限られ、学び合いの機会が少ないことが課題の要因である。	定期研修や事例検討会を計画的に設け、外部講師を招くなどしてスタッフ全体のスキルアップを推進していく。
3	支援内容の記録に多くの時間が割かれ、職員が児童支援に集中できる時間が削られるという課題が存在する。	紙や手書きでの記録が多く、同じ情報を繰り返し入力する場面があり効率化が進んでいないことが要因となる。	ICTを導入し記録の標準化や入力の簡素化を進め、支援の質を保ちながら職員の負担軽減を実現する取り組みが必要。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		グローバルプラス		公表日		令和7年10月1日			
		利用児童数		11		回収数		11	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11				十分な広さが確保されています。子供にとって安心して きる丁度よいスペースだと思います。	部屋のスペースは十分な広さを用意しています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11				適切です。子供を野放しにするという事は一切あり ません。必ず関わったり見守ってくださっています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11				一日の流れの見通しもしっかりとできていて いるので、安心して過ごすことができます。	今後も子供たちが安全に過ごせる環境を整えてま います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思 いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思 いますか。	11				いつも面談などで何うときと整えられています。	活動場面に合わせた環境設定をするようにして います。	
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支 援が受けられていると思いますか。	11				専門性の高い先生しかいらつらいと思 います。いつも心から安心して子供を預けて います。	日々子供たちの様子をチームで話し合いながら支 援を行っています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容 と合っていると思いますか。	11				合っています。子どもだけでなく、親にも寄り添って支 援くださっています。近隣店舗でお買い物練習をさ せていただいたり他にも地域の方々の繋がりを大 切にしていると思います。		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成され ていると思いますか。	11				いつも十分に理解してくださりありがとうございます。 とても考えてくださっている個別支援計画に感謝し ています。	保護者の皆様から頂いたアセスメントを基に、ケ ース検討会にて職員全員で検討して作成して います。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思 いますか。	11				とても適切に設定されていますし、具体的に設定 してくださることでとてもわかりやすいです。私 自身のやる気にも繋がっています。	「本人支援」「家族支援」「移行支援」につ いて必ず設定をし、必要な支援内容を具 体的に記入し保護者面談の際にご説明 いたしました。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	11				行われています。いつも寄り添ってくだ さり、あたたかい気持ちのこもった支 援ありがとうございます。	常に支援計画を意識した支援を目指して います。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	11				沢山の経験をさせて頂いています。前回は できなかったけど今回はできた！など、 本人の成長や自信にも繋がっている と思います。	毎月同じプログラムを繰り返すことで、 安心して子供たちが取り組み、積み重 ねることができると考えております。 今後も、子供たちが楽しく取り組める プログラムを日々工夫しながら活動して まいります。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機 会がありますか。	11						
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	11				いつも丁寧に説明させていただきます。	新規面談時に説明をさせて頂いて います。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされ ましたか。	11				はい。説明させていただきました。	「本人支援」の5領域について配布物 を作成して、説明をさせて頂きまし た。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング 等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	11						
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態 について共通理解ができていると思いますか。	11				できています。詳しくお話をしたい場 合、電話でもすぐに対応してくださ ると思います。一方的な状況になら ないことに感謝しております。	ご心配な事や課題について、多くの方 から電話や家族面談にてご相談を承 りました。今後もご心配な事があ りましたら、遠慮なくご相談くだ さい。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11				行われています。ありがとうございます。	お電話家族面談にてご相談を承 りました。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思 いますか。	11				されています。自分自身の自信ややる 気にも繋がっていて、支えて 頂いています。	ありがとうございます。	
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交 流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょう だい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設 けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			11					
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されて いるとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることにつ いて周知説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されて いますか。	11				契約時にしっかり説明してござい ます。体制整っています。	ご相談や申し入れに対して迅速な 対応を心掛けています。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11			連絡帳や送迎時、メールや電話で情報伝達ができていると思います。とても配慮してくださっています。	
	21	定期的に通信やホームページSNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11			毎回の写真付まお便りですっかりその日1日の様子を発信してくださっています。	毎日お便りを発行しております。自己評価については、ホームページに掲載しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11			トラブルは一度もございません。とても安心できます。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			部屋の状況と設備についても契約時丁寧に説明してくださいました。安全の確保、十分に行われています。	安全チェックリストに基づき、室内外設備玩具等の安全確認をしています。また、「安全計画」についてお便りを発行致しました。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			事故、怪我をしたことがないのですが、あった場合速やかに正確に状況を説明してくださると思います。	迅速な対応を心掛けています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11			とても安心感をもって通所しております。ありがとうございます。	子供たちが安心して通える場所であるように、常に寄り添う支援を目指して参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11			毎回とても楽しみに通所しています。	今後も子供たちが楽しく過ごせる場所であるように、職員一同励んでまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11			子供から「楽しかった!」と聞くと、私も嬉しいです。いつもありがとうございます。	沢山のご意見をいただき本当にありがとうございます。皆様の言葉が大変励みになっております。今後も専門性を学び、より良い保育療育を目指して参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルプラス		公表日 令和7年10月1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		十分なスペースを確保しています	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		十分な配置で細やかな対応が可能になっていると思います。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8			個々の利用者の特性を意識した形で利用者の個々の活動に合わせた配置を行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		改善案を職員全員が提出して、会議にて検討しています。	様々な活動を広げていくために配置などは検討していきたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		部屋数は限られているがその場面で必要となったときには部屋を個別で使ってもらっている。	今後個別が増えると安全対策も検討することなどの課題が出てくるのが懸念される
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8			常勤職員に限らず多くの方からも情報を得られるように検討していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		評価表等の意見を把握し対応するようにしている	今後も保護者の方の意見などを把握する場(送迎時、面談時、評価表など)を活用していく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			スタッフ同士が意見できる形を考えていきたい
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8			今後予算等が組める状況となれば第三者評価を受けてみる
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		法定研修などを行っている	まずは法定研修を的確に実施していきたい
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			内容は今後修正しながら個々の利用者に対応できるものにしていきたい
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		日々の支援や保護者の方、相談支援員等の情報なども含めてニーズや課題を分析し計画作成を行っている	個々の利用者のニーズを検討したうえで今後も新たな支援計画を作成していきたい
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		個別支援計画作成においてスタッフと「個別支援計画検討会議」を実施している	日々の支援の中でも共通理解を深めることでさらなる利用者への支援の改善をめざしていきたい
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		個別支援計画をスタッフと作成している	支援の内容についても確認しながら行っていく
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		保護者の方や相談員の方から頂いた情報と日々の活動などから状況を把握するように努めている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		5領域を全利用者の支援内容に盛り込んで計画を作成している。その他の家族支援、移行支援などは家族の意向や年齢などにあわせて設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		ミーティングなどを含め 当者によりプログラムの立案等をしている。	まだ特定のスタッフが中心での立案となっているため会議等を活用して広げていきたい

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		毎回前回のプログラムを確認しながら個々に対応している	集団のプログラムも行っているが参加が難しい方がいるためバリエーションをふやしていく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		基本的に集団で行えることが限られている方には個別の活動もできるようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		記録をとっており、職員で振り返りを行っている	検証なども行っていく
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		半年に1度「モニタリング」を行っている	あまり頻繁に見直し等は行っていないが必要に応じて行えるようにしていく
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		模擬喫茶や買い物練習など生活における決定や選択する機会を設けることで自己決定を促している	選択肢を増やす、ルールとセットで学べるような工夫を検討していきたい
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		主に児童発達管理責任者が参画しているが現場の状況で可能ならば 当事者の参加としている	当職員に限らず状況が理解できているようにしていく
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		学校や事業所などとは連携できるように現在取り組んでいる	医療機関との連携は地域課題として考えられる
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		学校のメールなどを登録し情報をいただいている。お迎え時に引継ぎなどを行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			お互いに情報を共有することで今後のつながりを深めていきたい
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時に保護者の方とのやりとりを行ったり契約、面談でもお話をさせていただいている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8			家庭によっては家族が希望していないがした方がいと判断した場合は連絡などを多くとるなどしている
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		契約における面談などで意向についてお話を聞くようにしサービス等利用計画を基に作成している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		計画を説明しながら同意を得ている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		なにか要望等を伺った場合はできる限りの対応をさせていただいている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報に関しては注意しているがご指摘をいただくこともあり再度留意していきたい	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		保護者との情報のやり取りは行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		地域の方を招待する行事は行っていない	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		保護者の方とのやりとりで発作や投薬の情報を共有している	研修等でてんかんなどの学習を行っていく
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		アレルギーの方は現在いないが情報をもらえるようお願いしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画を作成している	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		安全計画を作成している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットを行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待防止のための研修(事例検討、講義)などを行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		放課後等デイサービス計画に身体拘束することが予想される場合記載することとしている		